

西条中学校研究通信

R7 年度
第 2 号
研究部

R7 年度がスタートして、3 週間が過ぎました。先生方も生徒たちも新しいクラスに慣れてきた頃だと思います。まずは授業規律を固めていきましょう。そして、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、「選択」と「共有」の場面を取り入れた単元づくりに取り組んでいきましょう。

1. 公開研究会に向けた今後の流れ

日付	時間	取り組み内容
4/28（月）	研修日（本日）	単元の決定（単元の目標決め、評価方法・評価資料の検討、生徒の実態（観察だけでなく数値で）の把握など） 夏休みのブロック研修の日程決め
4/29～6/17		指導案作成（単元観までは完成しておきたいところです！）
6/18（水）	4h	研究授業（国語科 小野主幹教諭）
	午後（部活動無し）	大妻女子大学 澤井陽介先生を招いて 研究協議及び理論研修
6/19～7/1		指導案作成（適宜ブロック内で協力体制をとってください）
7/2（水）	午後（部活動無し）	各ブロックにて指導案検討
7/3～7/18		指導案起案（校内）
夏休み中	ブ ロ ッ ク 研 修	指導主事より指導助言（これ以降も、再度助言を受け、指導案を修正、完成してください。）

***6月18日と7月2日は、部活動は休みとし、全員研修に参加してください。**

2. 夏休み中のブロック研修の日程調整について

別紙「中体連」の試合日程などを参考に、各ブロックで指導主事派遣の希望日を、第4希望まで決め、指導主事派遣希望票を提出してください。

*ブロックごとの授業者について

ブロック	授業提案者（分科会有）	授業提案者（分科会無）
国語・音楽	小林	上田、池田
数学	三登	木本、藪影
社会・家庭科	鉦谷	庄司、川岸、重光
理科・技術	川手	山田
英語・美術	淀川	金本、コールデンホフ、光田、池田
保体	豊岡	佐伯
特別支援	西村	平田、渡邊、内藤、福島、堀

3. 研究主題に基づいた指導案作成について（6月18日までにやっておきたいこと）

(1) 単元と単元の目標決め

その単元で目指す生徒の姿に対して、生徒の現状はどうであるか、生徒の実態を把握・分析し、指導案の生徒観には、生徒の学習状況を具体的な数値とともに記述する必要があります。そのため、単元と単元の目標を早急に決定し、各種テストの結果などから生徒の実態を把握し生徒観に反映させてください。

(2) 研究主題に沿った指導の工夫の検討

本年度の研究主題『「主体的・対話的出深い学び」を実現するための指導の工夫～「選択」と「共有」の場面を取り入れた単元づくりを通して～』を意識して、単元の中に「選択」と「共有」の場面を必ず1回は設定してください。

【昨年度の事例 社会】

単元「地方の自治と政治」

ねらい	「選択」と「共有」の場面
対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、地方自治の課題とその解決策について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【思考力・判断力・表現力等 c(2)イ（ア）】	【単元を貫く課題として】 社会をより良いものにするために、最終的に決定する権力（主権）を持っている私たちは自分たちの市にある跡地をどのように利用するのがよいのだろうか。 【選択1：施設】 ①球場付き公園 ②図書館付き総合文化施設 ③大型ショッピングセンター ④高齢者介護施設 ⑤中高一貫校 ⑥ごみ処理施設 【選択2：資料】 ○地図 ○データ ○陳情文 その施設を作ることで生じるメリットだけでなく、起こりうるデメリットへの対応まで考える。その際、授業で学習した「対立と合意」「効率と公正」の視点を考慮すること。 【共有】 班ごとで施設や資料を選択しながら話し合ったのち、全体で共有。 共有後は、市長の立場で、どの跡地利用が適切か個人思考し、演説原稿を作成。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

「主体的に学習に取り組む態度」を評価するためには、生徒がどのように自らの学習を調整しようとしているかを見取る必要があります。そのためには、「〇〇についてよくわかった」等の単なる授業評価ではなく、例えば「誰のどのような学びが自分の学びに参考になったか」などを振り返らせるようにしましょう。